

井土ヶ谷地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆あいさつとふれあいのまち 井土ヶ谷

高齢者の閉じこもり、孤立化防止のために・・・

【成果】

- ・ 高齢者向け食事会（たんぽぽ会、カトレア会）において下記の取組み等により参加者増や定着につながりました。
南中、蒔田中茶道部の生徒とのふれあい事業の実施。
いきいき長生き日帰りバス旅行の実施。
- ・ 食事会で会話を楽しむことにより外出の意欲が増し、老人クラブ行事にも参加を呼び掛けられる状況となりました。
- ・ 元気づくりステーションを開設し、毎回多くの方が参加しました。体操等を通じて健康づくりに取り組みました。



高齢者向け食事会

【今後に向けて】

- ・ 高齢者向け食事会や高齢サロン「いこい」に参加しやすくするため、送迎車の準備を検討します。また、出かける機会の少ない方々へのアプローチを進めます。
- ・ 食事会だけでなく、おしゃべり会等を実施することを検討します。

あいさつの掛け合えるまちづくりのために・・・

【成果】

- ・ ちょっとボランティアの活動を通じ、児童、生徒が地域の方々とふれあう良い機会となり、交流が深まりました。
高齢者宅の庭の草取りや換気扇等の清掃、障子、襖の張替え等のお手伝い。
蒔田公園での南まつりに模擬店の出店や井土ヶ谷小学校でのふるさと祭りへの出店、地区連合町内会主催の大運動会での放送・得点集計等活动。
- ・ 子育てサロン「豆の木」では、こども青少年局事業の「えの木」に参加する親子も参加し、大盛況裡に実施しました。
- ・ 地区の様々な行事に参加している人たちの中に、挨拶を掛け合う状況が生まれ、非常に良い雰囲気となっています。

【今後に向けて】

- ・ ちょこっとボランティアの活動の充実のため、地域の方々、小中学校の先生方への理解促進に努めます。また、もっともっと活動できるよう地域へのPRも進めます。
- ・ 挨拶を通じ、認知症の方も自然に見守り、サポートする環境づくりを進めます。
- ・ 防災訓練、餅つき大会、夏まつり等々の自治会町内会の行事をPRし、参加を促し、顔見知りの関係を築いていきます。

災害時の要援護者支援のために・・・**【成果】**

- ・ 災害時の要援護者名簿の作成が進みました。
- ・ 地域の活動をする中で、高齢者定期訪問をしているの方々以外にも、多くの方が支援を必要としていることが分かり、地域の実情が垣間見えてきました。

【今後に向けて】

- ・ ほぼ完成している災害時要援護者名簿を活用し、いざというときに、援護する側がスムーズに動ける仕組みを検討します。
- ・ 有事の際、関係機関と協力して動けるよう、日頃から連携を深め、シミュレーション等に取り組みます。

地域活動のより効果的な展開のために・・・**【成果】**

- ・ 高齢サロン「いこい」・井土ヶ谷サロン「幸励」において、様々な企画や研修会等を実施することにより、参加者が定着しました。
- ・ 子育てサロン「豆の木」や「えの木」は、母親の孤立化防止などにも役立っています。



高齢サロン「いこい」

【今後に向けて】

- ・ 地域活動のより効果的な展開のために、赤ちゃんから高齢者まで幅の広い交流の場づくりを広げていきます。
- ・ 子育てサロンの「豆の木」、「えの木」を通じ、孤立化してしまう母親のフォローを継続して行い、いずれは担い手として協力してもらえる様、声かけしていきます。
- ・ 高齢サロン「いこい」・井土ヶ谷サロン「幸励」への参加については、一人暮らしの方々や近所づきあいの少ないの方々へのアプローチを検討していきます。
- ・ 区とも協力しサロンなどで体操を取り入れていきます。
- ・ 活動を支える担い手としてボランティアの育成が急務です。自治会町内会の役員等の協力を得て取り組みを進めます。

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特徴

（データ＝平成26年9月末日現在）

環状一号と平戸桜木道路を主軸とした大岡川北側地区です。幹線道路から一步入ると戸建ての街並みが連なっています。

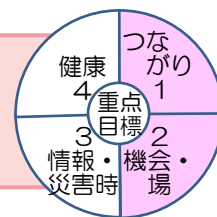
地区人口＝約11,600人
年少人口比率＝10.0%
高齢人口比率＝27.3%
総世帯数＝約6,200世帯
平均世帯規模＝約1.9人



あいさつとふれあいのまち 井土ヶ谷

あいさつの掛け合えるまちづくりのために・・・

5年後の将来像：朝の声・隣近所で聞こえる『おはようございます』の清々しい声！！

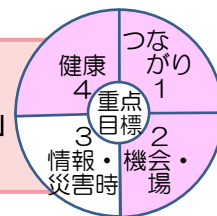


具体的な取組等

- ・小学生、中学生の登下校時間に、自治会町内会の大人が立つポイントを決め声をかけます。
- ・昔の遊びを大人から子どもへ伝えるような催しを開催します。（ベーゴマ、めんこ、けん玉、おはじき、お手玉、あやとり等）
- ・一年に一回、自治会町内会全体で、道路や公園等の清掃をします。（町内会役員、婦人部、子ども会、老人クラブだけでなく）
- ・高齢者と子どもの交流の際、子どもの親の世代とも声を掛け合える関係を築き、結果的に、担い手としての協力が得られるような関係性を構築していきます。
- ・子育てサロンの「豆の木」や「えの木」と高齢サロンの「いこい」や「幸励」の合同サロンを自然な形で無理のない範囲で行い、少しずつ異世代交流を図っていきます。
- ・いざというときに備えて、顔の見える関係づくりを進めていきます。

高齢者の閉じこもり、孤立化防止のために・・・

5年後の将来像：心待ち（こころ町）「たんぽぽ・カトレアの食事会」～待ち遠しいな～



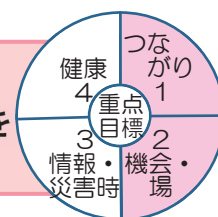
具体的な取組等

- ・食事会やサロンのPRを今後も続け、出かける機会の少ない方々等へのアプローチを進めます。また、幅広い層による協力の広がりも生まれるようPRしていきます。
- ・中学生（茶道部）とのふれあいは今後も継続できるよう取り組み、他の部活との交流も検討していきます。

- ・子育てサロンと高齢サロンの合同サロンとして、おしゃべり会を開催する等検討していきます。（食事会のない月に）
- ・食事会と共に元気づくりステーション等でも健康が維持されるよう取り組みます。

地域の子どもたちの健全育成のために・・・

5年後の将来像：地域活動を活発に進め、地域の子どもたちの成長を応援する町となっている。

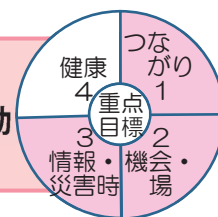


具体的な取組等

- ・核家族化している状況なので、異世代交流の場を検討し実施します。
- ・中学生と子育てサロン「豆の木」、「えの木」との交流をこれまで以上に進めます。
- ・小学生、中学生、高校生と高齢サロンとの交流を一層深めていきます。
- ・ミニスポーツ大会や運動会等を通じて、子どもと地域の大人たちとが交流を深めます。
- ・子ども又は親子料理教室を実施するなど、地域の取り組みへ関心を深めます。
- ・認知症サポーターを子どもたちに広げていくために、学校等と連携し認知症サポーター養成講座を実施します。

災害時の要援護者支援のために・・・

5年後の将来像：災害時要援護者支援活動を、中・高校生と共に活動している。



具体的な取組等

- ・障害者、高齢者、認知症等々の学習会を開催し、理解を深める活動を進めます。
- ・学習を重ねた上で、障害者、高齢者とのふれあいの会の開催、顔見知りになる機会をさらに作ります。
- ・全ての自治会町内会において、提供された個人情報等が、有事の際有効に活用されるよう区や関係機関と連携を図ります。また、要援護者名簿の理解を進め、日常からこれら情報の更新も定期的に行い、正確な情報確保に努めます。